《活動写真》

《活動の成果》

「交流」が難しいコロナ禍で、自分自身を代弁する写真やお花、食べ物などそれぞれの方法で投稿や展示ができました。遠くに外出できなくても、少し体や頭を動かしたり、何かを見つける喜びを感じてもらえたのではと思います。
路地ギャラリーでの作品展も、子どもたちの笑い声や座ってお茶を飲む方など、生活の中で心のゆとりを感じる時間にできました。今後も投稿いただいた写真はそのまま残し続けてまりいます。
集っての講習会や作品鑑賞会はもうしばらく難しいですが、写真がかわりに話をてくれているような、そんな交流とつながりを実践することができました。